



2021年2月1日

各 位

会 社 名 大平洋金属株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 青山 正幸
 (コード番号 5541 東証第1部)
 問合せ先 取締役専務執行役員 藤山 環
 (TEL 03-3201-6681)

営業外収益(持分法による投資利益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)において、営業外収益として持分法による投資利益を計上するとともに、最近の業績の動向を踏まえ、2020年10月30日に発表した通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

●営業外収益(持分法による投資利益)の内容

フィリピンの持分法適用関連会社において、堅調な需要等に支えられ、当第3四半期連結累計期間におきまして、持分法による投資利益2,415百万円(第2四半期連結累計期間 持分法による投資利益1,146百万円)を計上する見込みとなりました。

●業績予想の修正について

1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年10月30日発表)	百万円 33,342	百万円 △1,189	百万円 1,439	百万円 1,397	円 銭 71.63
今回修正予想(B)	30,975	△1,174	2,498	2,171	111.31
増減額(B-A)	△2,367	15	1,059	774	
増減率(%)	△7.1	—	73.6	55.4	
(参考)前期実績(2020年3月期)	44,133	△1,879	972	625	32.06

2. 修正の理由

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)は国内外の景気に急激な影響を及ぼしており、当面、企業活動は鈍い動きが続くものと見られ、また、第4四半期連結会計期間には一部に緊急事態宣言が再発出され、経済の先行きは不確実性が極めて高くなっており、当社グループへも大きな影響が見込まれます。

数量面では、ニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、海外の一部は回復基調を辿るものの、原料調達と比較的価格優位性が見られるニッケル銑鉄等へシフトしていること等もあり、フェロニッケル需要回復の動きは鈍く、厳しい状況での推移が見込まれます。原料鉱石調達面では、影響は見られないものの、調達先国のニッケル鉱山の操業状況については、感染症の影響は注視する必要があります。また、持分法適用関連会社である鉱山会社の持分法による投資利益への影響も見込まれます。

価格面では、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用LMEニッケル価格は、前回公表時と変わらず、上昇基調で推移するものと見込んでおります。

そのため、連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。なお、前提条件に関しましては次ページ(参考)前提条件の修正をご参照ください。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考) 前提条件の修正

	販売数量 (t)			生産数量 (t)			適用 LME ニッケル価格 (\$/lb)			適用為替 (¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2020年10月30日)	9,674	12,326	22,000	9,374	10,390	19,764	5.94	6.48	6.24	106.06	106.28	106.18
今回修正予想	9,674	10,326	20,000	9,374	8,918	18,292	5.94	6.87	6.42	106.06	104.01	105.00
(参考)前期実績 (2020年3月期)	14,889	13,644	28,533	16,271	14,614	30,885	5.90	6.71	6.29	108.52	108.45	108.49

以上